

とうしくんとタイムトラベル！～資産形成を体験しよう～

資産運用記録表

チーム

<資産運用のルール>

条件1 毎月1万円を、5つの金融商品に、あらかじめ決めた資産配分の割合で一定期間運用します。

※ 必ず5つの金融商品に資金を割り振る必要はありません。いくつかに絞っても、1つにまとめて投資しても構いません。

条件2 資産配分は5年ごとに見直します。**条件3** 運用の対象となる金融商品は次の5つです。

預 金：日本の円預金(定期預金)で運用します。

国内債券：日本の国債、社債を組み合わせで運用します。

外国債券：日本を除いた主要国の国債を組み合わせで運用します。

国内株式：日本の株式市場の平均株価で運用します。

外国株式：日本を除いた主要国の株式市場の平均株価を組み合わせで運用します。

○ 第1ターム (年～ 年)

	① 配分	理 由	② 投資金額	③ 運用成績
預 金	%		600,000円	円
国内債券	%			
外国債券	%			
国内株式	%			
外国株式	%			
合 計	100 %			

○ 第2ターム (年～ 年)

	④ 配分	理 由	⑤ 投資金額	⑥ 運用成績
預 金	%		1,200,000円	円
国内債券	%			
外国債券	%			
国内株式	%			
外国株式	%			
合 計	100 %			

○ 第3ターム (年～ 年)

	⑦ 配分	理 由	⑧ 投資金額	⑨ 運用成績
預 金	%		1,800,000円	円
国内債券	%			
外国債券	%			
国内株式	%			
外国株式	%			
合 計	100 %			

○ 第4ターム (年～ 年)

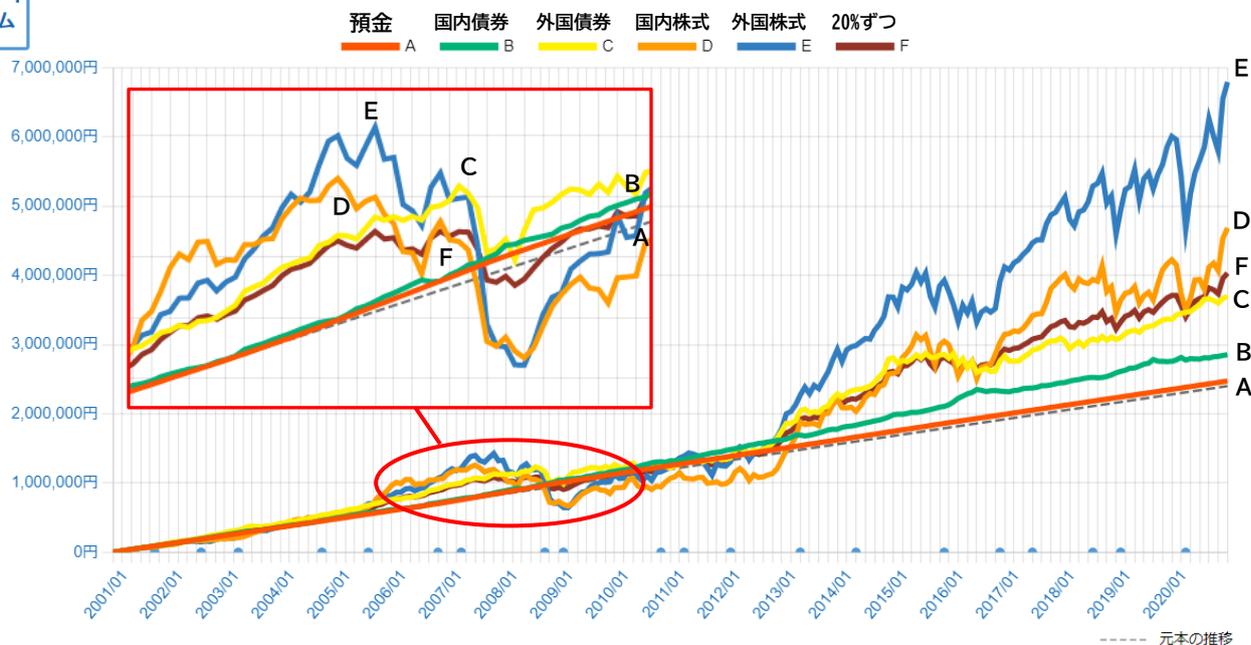
	⑩ 配分	理 由	⑪ 投資金額	⑫ 運用成績
預 金	%		2,400,000円	円
国内債券	%			
外国債券	%			
国内株式	%			
外国株式	%			
合 計	100 %			

とうしくんとタイムトラベル！～資産形成を体験しよう～ 振り返りシート

年 組 番 名前

結果発表！運用成績の推移

2001年～2020年

第1～4
ターム

上記のグラフは、2001年から2020年にかけて毎月1万円ずつ、5つの金融商品(A:預金、B:国内債券、C:外国債券、D:国内株式、E:外国株式)それぞれに全額(100%)投資した場合と、5つの金融商品に分散投資(F:20%ずつ)した場合の運用成果を表したものです。

Q1 将来の社会情勢や経済の状況を正確に予測することはできない中(グラフの拡大部分のように金融商品の価値が大きく動くことがある中)、投資による資産形成のリスクを抑えるための方法について、「分散投資」という言葉を使って自分の考えをまとめてみよう。

Q2 少額でも長期にわたって積み立てながら資産形成に取り組むことの意義について、自分の考えをまとめてみよう。